

平成 23 年度 北海道における学力等 調査結果

平成 23 年 9 月 27 日、小学校 6 年生と中学校 3 年生を対象に平成 23 年度の学力等調査が行われ、幕別町では全体的に北海道平均をやや上回る結果となりました。教育委員会では、今後も学校と連携を図りながら、一層、児童生徒の学力の向上に努めてまいります。

■問い合わせ先 教育委員会学校教育係 TEL【幕】54-2006

調査のねらい

この調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全道的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の検証や課題の改善を図るものです。

調査内容について

今回の学力等調査は、東日本大震災等の影響により、北海道（札幌市を除く 178 市町村）における調査となりました。教科に関する調査では、小学校で国語と算数、中学校で国語と数学が実施され、教科ごとに主に知識に関する内容、応用力や活用力を問う構成になっています。

また、学力との相関関係を調べるために生活習慣や学習環境に関する質問紙調査も行われました。

この結果は、今後の教育指導や学習の工夫改善に活

かされます。

調査結果について

教科に関する調査において、小学校では全体的に北海道平均を上回っていますが算数（知識）のみ

北海道平均をやや下回り、中学校では 2 教科ともに北海道平均を上回る結果となりました。生活習慣や学習環境に関する調査では、小・中学校ともに「近所の人にあいさつをしている」割合が北海道と比べ高いことが特徴といえます。

■教科ごとの結果（主なもの）

【理解している項目】

教科・分野	小6年	中3年
国語	○国語辞典を利用して語句を調べる方法を理解する ○新聞記事の中で問題となっている事実を捉えて書く	○語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う ○必要な情報を探し、関連させながら読む
算数 / 数学	○基準量と割合に着目し、比較する量について判断ができる ○直方体の体積の求め方について理解している	○回転移動の意味を理解する ○証明の根拠となる事柄を明確に捉えることができる

【課題のある項目】

教科・分野	小6年	中3年
国語	○漢字を正しく読む・書く	○文脈に即し漢字を正しく書く ○書かれている情報を基に、自分の考えを論理的に書く
算数 / 数学	○百分率の意味について理解している ○帯分数と真分数の減法の計算をする	○数量の関係や法則などを文字式で表現する ○問題解決の過程を振り返り、事象を数学的に解釈する

■生活習慣や学習環境に関する結果（主なもの）

※（ ）内が北海道との差

質問事項	割合	
	小6年	中3年
朝食を毎日とる	95.9% (1.2%)	95.2% (4.3%)
学校以外で一日あたり1時間以上勉強している	39.3% (△2.6%)	68.6% (4.7%)
ほぼ毎日携帯電話で通話やメールをしている	7.3% (△1.7%)	23.0% (△9.1%)
近所の人にあいさつをしている	94.0% (7.2%)	86.8% (8.7%)

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合を合わせたもの